



社会との関わり

「自然・地域と共生する」という経営理念のもと、ステークホルダー（利害関係者）と積極的な関わりを持ち、継続的な地域貢献活動に取り組むとともに、誰もが参加しやすい活動、交流の場を通じて、社員の自主的・自発的なボランティア活動、社会参加を促進しています。

活動方針

当社の社会貢献に関する活動方針は、まず企業としての取組みの中で「青少年育成」「障がい者自立支援」「環境保全」の3つの分野に重点を置いた活動を行なっています。またもう一つの取組みとして、社員が行うさまざまな社会貢献活動に対する支援・啓蒙にも注力しています。

■社会貢献に関する活動方針

東海理化が行う企業としての社会貢献活動の企画・推進

重点分野

青少年育成

未来社会を担う子どもたちの育成に貢献

障がい者自立支援

バリアフリー社会をめざして活動

環境保全

未来のために地球環境とのより良い関係を考えて行動

社員が行う社会参加活動・ボランティア活動などの支援・啓蒙

チャリティー・ヘルシーメニューの提供

各工場社員食堂でチャリティー・ヘルシーメニューを提供しています。肥満や生活習慣病のリスクを下げるメニューを喫食すると価格に寄付金10円が含まれており、集まった寄付金は、公益財団法人アジア保健研修所が行うフィリピンの子どもの食生活改善事業に活かされます。



◀チャリティー・ヘルシーメニューの提供

構内での障がい者施設手作り製品の販売

各工場構内で、昼休みを利用して近隣の障がい者施設の方々が手づくり品などの製品を販売する場を提供しています。また、各施設が開催するお祭りなどのイベントには、社員がボランティアとして運営協力しています。



▲施設の皆さんによる販売風景



▲社員ボランティアによるバルーン教室

新入社員の社会貢献活動体験教育「ふれあい活動」の実施

地域の障がい者施設との協働で、当社新入社員と障がい者の方が水族館へ小旅行を行っています。バス車内での自己紹介・水族館見学・昼食など、コミュニケーションを取ることで障がい者を正しく理解し、サポートのあり方を学ぶことを目的として実施しています。



▲水族館に向かう社員と施設の皆さん



▲乗降時には社員がサポート

B-1グランプリ in 豊川への協賛

豊川市制70周年の記念イベントの一つとして開催された「B-1グランプリ in 豊川」において、当社音羽工場駐車場を臨時駐車場として無償提供し、工場からB-1グランプリ会場までを結ぶシャトルバス22台を運行しました。また、当社駐車場では192名の社員が安全確保のため、駐車場係として活動しました。



車を誘導する社員▶